

令和 6 年度

第 5 回 南長浜地域まちづくり検討会議



- | | |
|-------------------|-------|
| 1. あいさつ | 1 分 |
| 2. 各種報告 | 1 0 分 |
| 3. 全体共有・全体調整 | 3 0 分 |
| 4. ゾーニングに関する個別議論 | 6 0 分 |
| 5. 全体共有・意見交換 | 3 0 分 |
| 6. 第 6 回 検討会議について | 3 分 |



南長浜地域まちづくり共創会議 R6.10.4

[意見要点]

- ・南長浜地域での大きな話題は、**神田SICを核としたまちづくり**。もう1つは田村駅。今、少しずつロータリーなど進んでいる。**大学・産業振興の拠点としてとらえて、ここから産業を広げていく発想が必要である。**
 - 産業振興は長浜単独ではできない。企業にも協力願うのが今回のコンセプト。「開かれたシビックプライド」として外の力も引き入れてまちの魅力を高めていく。地元企業も含めて、たくさんの企業が来てほしい。
- ・開発は市が直営でやるのも1つの案だが、開かれたシビックプライドで考えると、第3セクターにしてもらって、主体となりうるともっと熱が入るのではないか。
 - 市が主体となると遅くなることもあり、逆に民間が主体になると早い場合もある。民間企業による投資開発の方が早く、これを一番に進めることを考えている。

- ・南長浜の人口は減っている。住宅ゾーンとしているが、集落内は家が建てられない。**住んでいた人を呼び戻すということ**をしなければいけないが、市街化区域内は満杯で拡大はできない。商業地域か工業地域しか拡大できないと認識している。一体的なまちづくりをしてもらいたい。
- ・市街化調整区域は民間、個人では開発できないのが実情。西黒田地域も経済特区を設けてもらいたい。
 - ビジョンの検討は政策デザイン課でやっているが、関係課と情報共有しながら具体的に議論をしている状況にある。組織としては別だが、地元からの意見についても注目して合同で協議している。
- ・神田地域でも空き家・空地の問題が議論に上がっている。
 - 南長浜の人口の今後の見通しとして、このままでは人口がますます減っていくと考えている。若い人を中心に人、モノを集積させていくとコンセプトにも謳っている。
 - **空き家対策の要素をビジョンに組み込むことも検討**

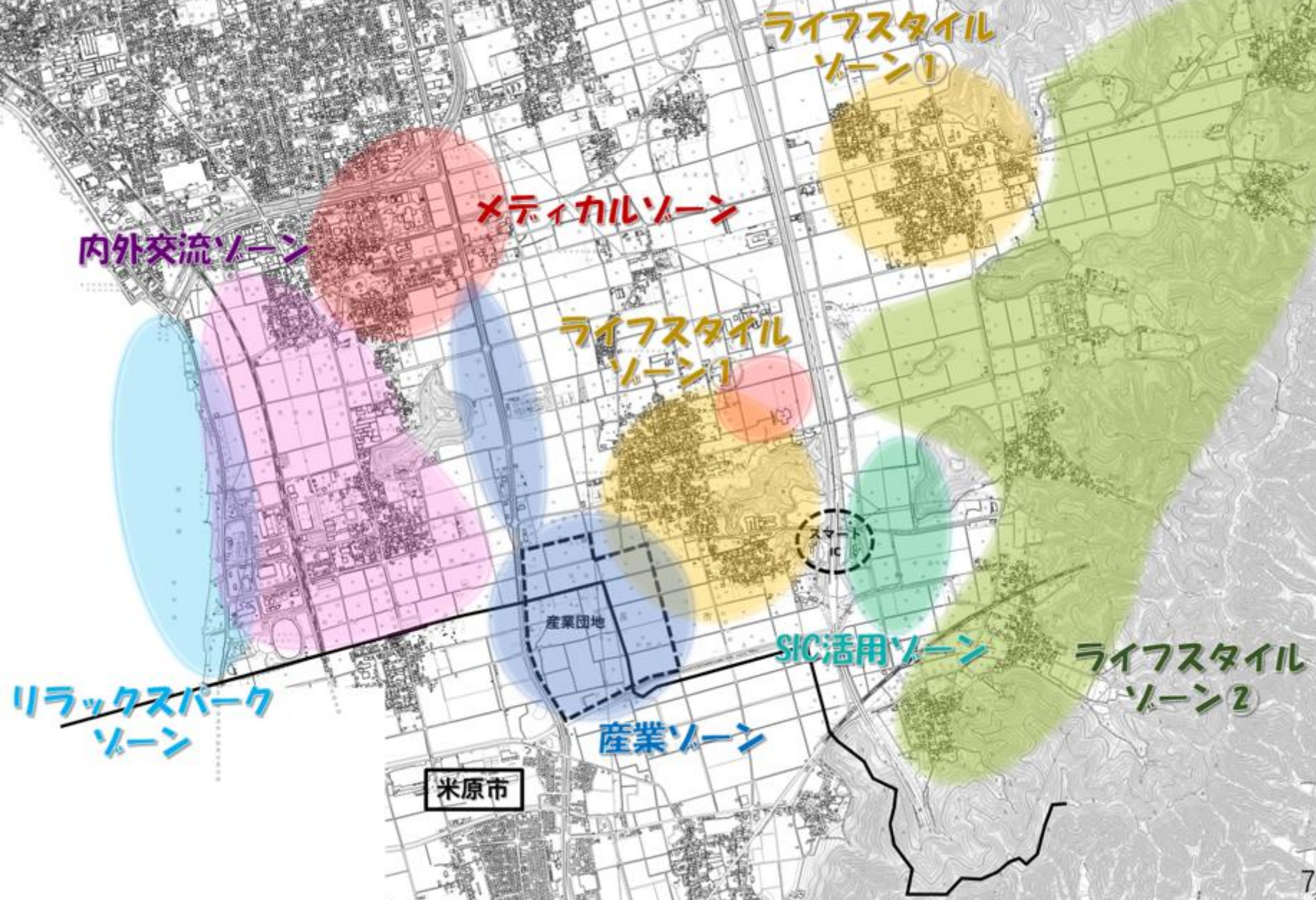


- ・ 検討会議のアイデアは興味深く素敵である。住む人の未来を考えるともっと子育て世代にフォーカスしてもよいと思う。
→ 子育て世帯への議論はされている。都会ではない自然と共生する新しい子育てができればと思い議論している。
- ・ 田村駅周辺でも若い人が集う場所がない。ビジョンを達成するのは時間がかかる。短期的にでもバイオ大学と田村駅を盛り上げることは大事と思う。
- ・ 滋賀文教短期大学は、2026年度以降、学生の募集を停止する。少子化などを背景とした財務状況の悪化が原因である。
学生募集は停止するが、2025年度入学生を含めて、全ての在学生在が予定通りに学修を継続できるようにする。
→ 学生と地域、市との接点が少なく見えてなかった。大切な視点があるので、押さえておきたい。
→ ゾーニング等を紹介させてもらったが、駅の周辺に人がどう集まっていくか、それでどう大学生が増えるか、乗降客数が増えるか、駅の改修につながるかというのがちりばめられている。

ゾーニングの掘り下げ、具体化をしていくために
ベースとなるゾーニングの考え方や市（行政）として
進めようとしている方針について共有します。



ベースゾーニング (案)



[リラックスパークゾーン]

- スペシャルな地域アセットである琵琶湖を軸とした「アクティビティ」「ヒーリング」「ブレイク(憩いの場)」など余暇を楽しむゾーン
- 「ワーケーション」など新たな働き方を提供するゾーン

[内外交流ゾーン]

- JR田村駅及び（仮称）神田SICを交通軸に地域内外のヒト・モノ・コトが、既存地域アセット（サイエンスパーク、長浜バイオ大学、滋賀文教短期大学、インキュベーションセンター、地方卸売市場、琵琶湖、里山）や新規アセットを結節点に交わり合い、新たな可能性が自発的に芽生え、関係人口や交流人口の拡大をけん引するゾーン



[メディカルゾーン]

- 市立長浜病院を軸とした地域住民が将来にわたって安心して暮らし続けることができる持続可能な地域医療を提供するゾーン
- 地域住民の健康の維持や増進をサポートし、県北の健康医療都市づくりの中核となるゾーン

[産業ゾーン]

- 新たな価値創造、雇用創出、地域振興に結び付く様々な産業の拠点となるゾーン、若者にとって魅力的な働く場となるゾーン
- 「国道沿い」 地域生活の維持及び賑わいを生む店舗が集まるゾーン

[SIC活用ゾーン]

- （仮称）神田スマートICを交通軸とした地域活性化に資する取り組みを進めるゾーン



[ライフスタイルゾーン①]

- まちづくりセンターを軸に持続可能でサーキュラーな（経済が循環する）集落が形成され、既存の集落文化と未来の生活が融合するゾーン
- 生活サービスや地域活動の場など基礎的な生活圏を支える拠点機能を確保するゾーン

[ライフスタイルゾーン②]

- 中山間地域ならではの魅力を生かしつつ、将来も持続可能な生活が可能な集落を形成するゾーン
- 豊かな自然を生かした体験や地域振興に力を入れ、地域内外から人を呼び込むゾーン
- 農業高校との連携により、農業を核とした地域活性化を図るゾーン

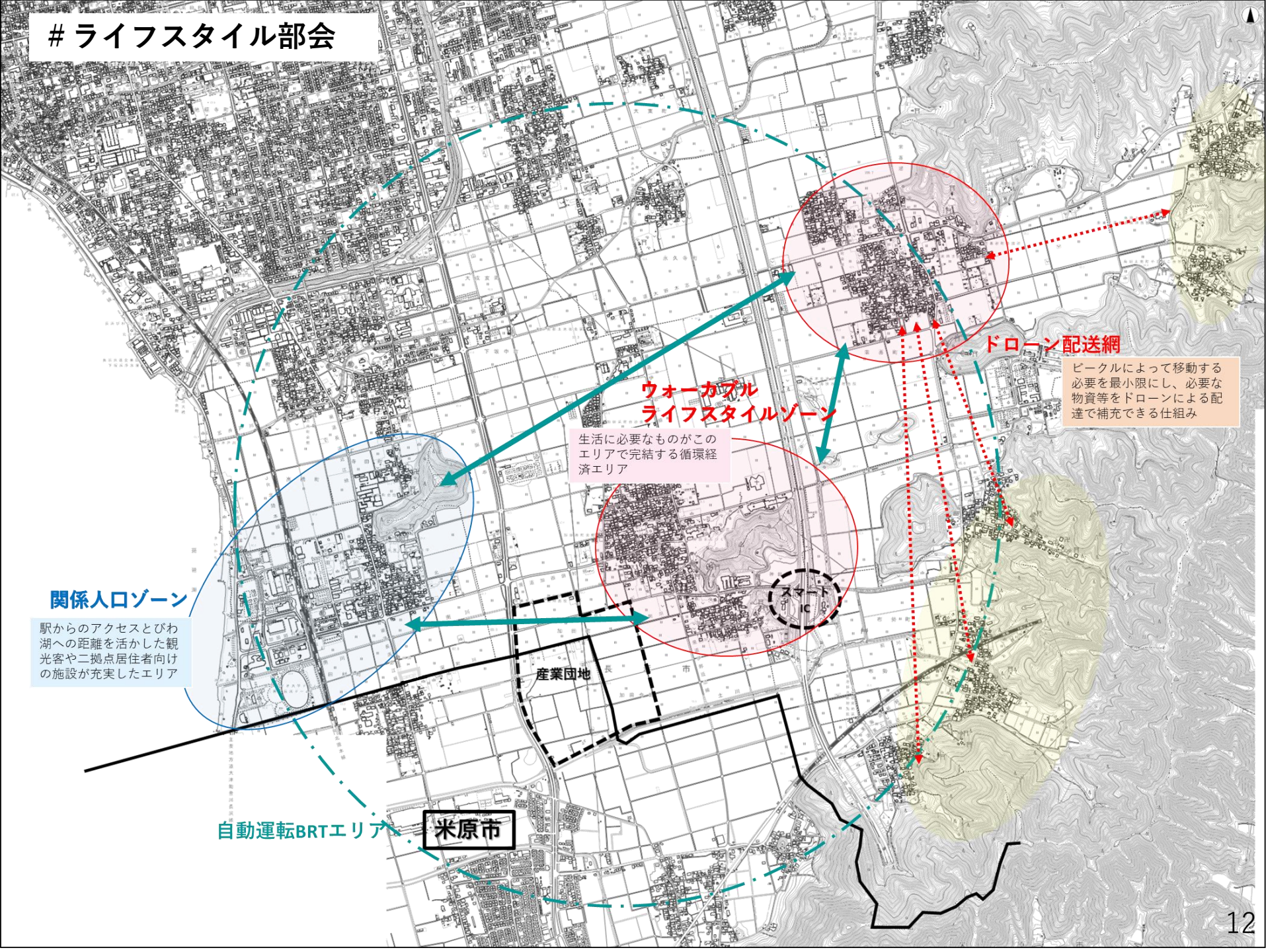


前回のゾーニングを掘り下げ、より具体化

※各ゾーンの役割や方向性を重視した議論をお願いします



ライフスタイル部会



インキュベーション部会

駅

市街地での
検証ゾーン

連携がないか検討

市立長浜病院

スタート
アップとの
交流

地元企業と
の交流

人との交流から
ビジネスの初期
アイデアが生ま
れ続けるゾーン

過疎化が進む地域での
移動手段検証ネットワーク

農業高校

つなぐ移動手段

つなぐ移動手段

おひさまと水平線を
活かしたリラックス
ゾーン

さいかち浜
スポーツ・
観光エリア

駅

フードインク
ベーションハブ

つなぐ移動手段

産業団地

量産型ゾーン

未来の基幹産業ゾーン

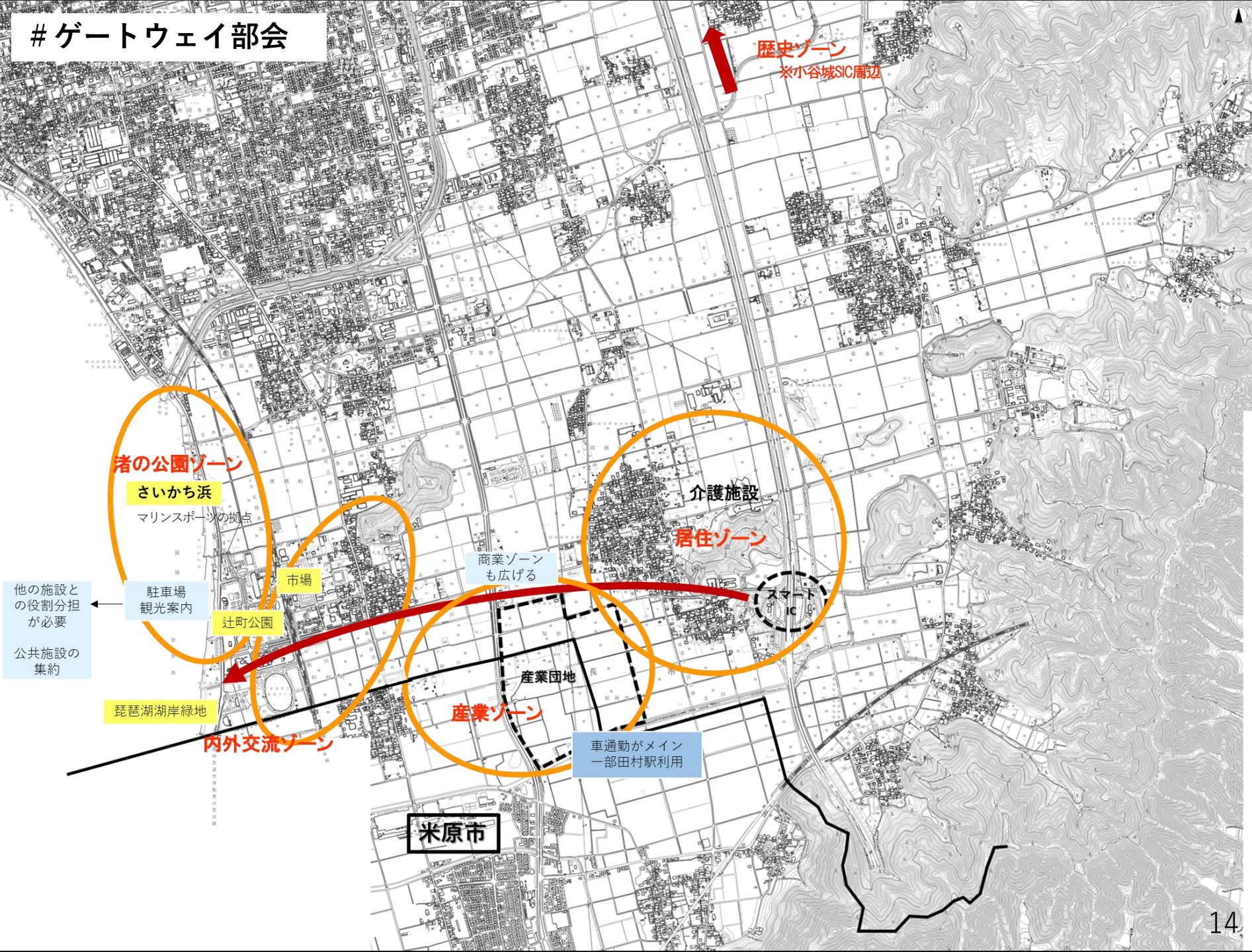
シェアハウス型
スタートアップ
施設

サテライト村

つなぐ移動手段

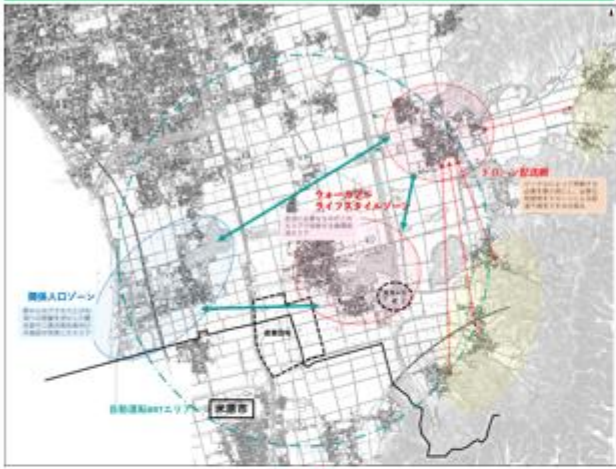
米原市

#ゲートウェイ部会

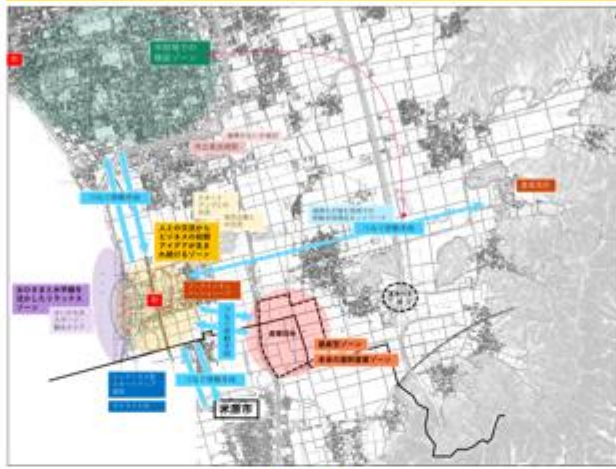


南長浜地域のこれからの姿を描く

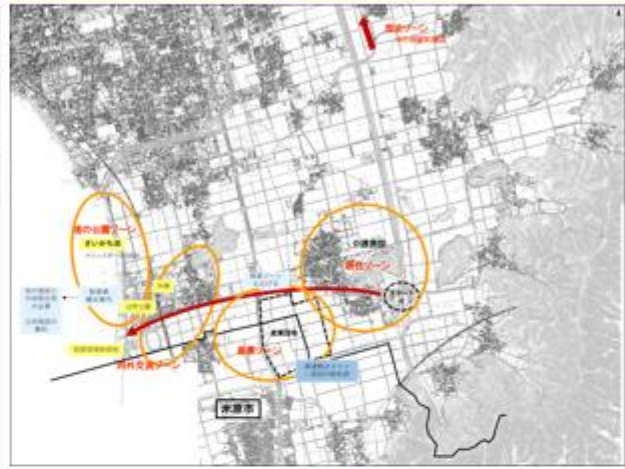
ライフスタイル部会 暮らし・サーキュラーエコノミー



インキュベーション部会 ワーキング・先進技術



ゲートウェイ部会 多様交流・広域集客



～ まじわり、未来がそだつまち ～
「のこす」「そだつ」「まじわる」の3つの視点を重視しつつ、2050年にあるべき賑わいや他地域をけん引する先進的な取り組み

2050年を目指す方向		ターゲットプレイヤー
既存資本を最大限に活用しつつ、サステナブルな未来の生活様式を先進的に進める		
マスターゾーン	主な取組（案）	社会的インパクト
① ライフスタイルゾーン		
② ライフスタイルゾーン		
③ 内海交流ゾーン		

2050年を目指す方向		ターゲットプレイヤー
南長浜にリソースのある「食・農・健康」領域のビジネスや産業のインキュベーションを推進		
マスターゾーン	主な取組（案）	社会的インパクト
① ライフスタイルゾーン		
② ライフスタイルゾーン		
③ 内海交流ゾーン		

2050年を目指す方向		ターゲットプレイヤー
市域最南部に位置する立地特性や交通利便性を活かして、人や資本が集まるハブ機能を整備		
マスターゾーン	主な取組（案）	社会的インパクト
① ライフスタイルゾーン		
② ライフスタイルゾーン		
③ 内海交流ゾーン		



ライフスタイル部会

2050年に目指す方向

- ❑ 既存資本を最大限に活用しつつ、サステナブルな未来の生活様式を先進的に進める
- ❑



ターゲットプレイヤー

- ❑
- ❑

ベースゾーン	主な取組（案）	社会的インパクト
ライフスタイルゾーン ①		
ライフスタイルゾーン ②		
内外交流ゾーン		



インキュベーション部会

2050年に目指す方向

- 南長浜にリソースのある「食・農・健康」領域のビジネスや産業のインキュベーションを推進
-



ターゲットプレイヤー

-
-

ベースゾーン	主な取組（案）	社会的インパクト
.		
.		
.		



ゲートウェイ部会

2050年に目指す方向

- 市域最南部に位置する立地特性や交通利便性を活かして、人や資本が集まるハブ機能を整備
-



ターゲットプレイヤー

-
-

ベースゾーン	主な取組（案）	社会的インパクト
.		
.		
.		

全体共有・意見交換

- ライフスタイル部会
- インキュベーション部会
- ゲートウェイ部会



会議日程

令和7年1月14日 16時から

場 所

ビワコピクニックベース（元浜町）

会議内容（予定）

- 原案に対する各部会における加除修正点の洗い出し
- 全体共有・意見交換

